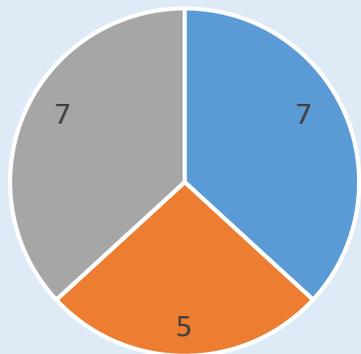


地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの主な意見（北多摩北部）

地域医療連携システムの導入状況



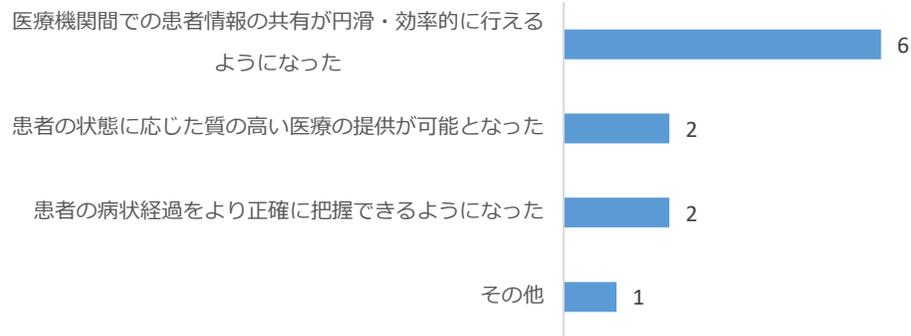
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

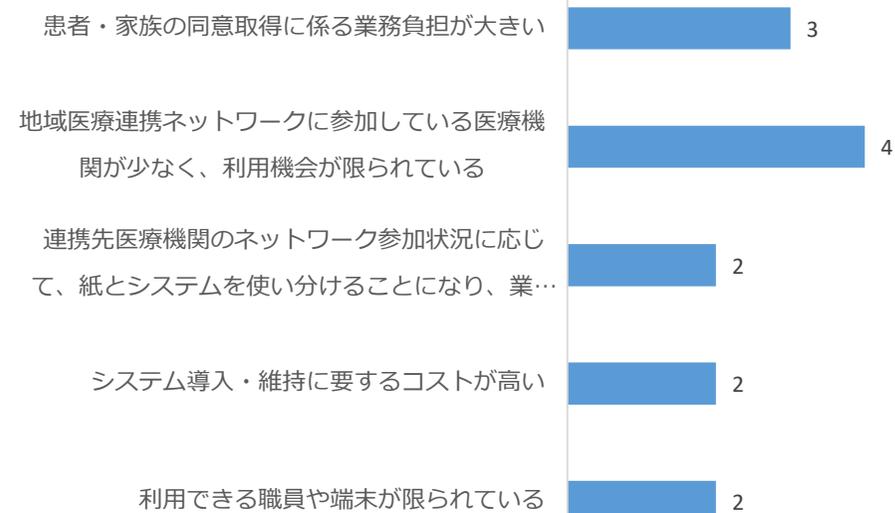
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	3	2
急性期/サブアキュート	4	2
回復期/ポストアキュート	1	1
慢性期	3	1
ケアミックス（急性期・回復期）	2	0
ケアミックス（回復期・慢性期）	2	1
その他	4	0
計	19	7

■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



導入や運用面での課題（複数回答可）



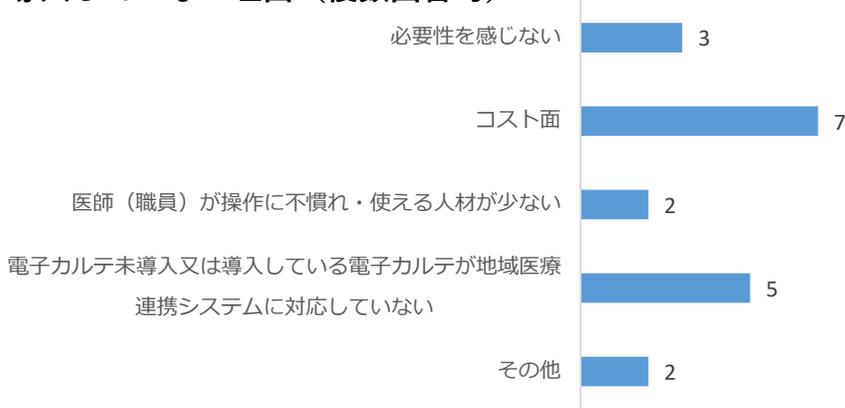
事前アンケートの主な意見（北多摩北部）

■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

医療連携の際にどのような手段を用いているか

- ・ 診療情報提供書のFAX、メール送付
- ・ 電話
- ・ 基幹病院の連携ネットワークに参加している。
- ・ 東京都事業で作成したガイドブックの活用

導入していない理由（複数回答可）



どのような点が改善されれば導入するか

- ・ 補助金の申請しやすさ
- ・ ランニングコストを含めた財政的な支援が充実されると良い
- ・ 準備の為にマンパワー不足
- ・ 導入コストに対する補助金等の支援
- ・ セキュリティ対策が100%担保できること。
- ・ システム管理組織を構築し、漏洩等の問題が発生した場合の責任を個々の病院へ押し付けない。電カルのパッケージが違っていて共有できるのか。
- ・ 電子カルテ導入
- ・ パッケージが対応できること。費用があまりかからないこと。個人情報保護に不安がないこと。
- ・ 精神科にも対応したシステム
- ・ 病院間等の情報のやりとりがシステムを介することを必須にするなど、導入せざるを得ない状況になれば。

■ DXを活用した地域医療連携の理想的な姿

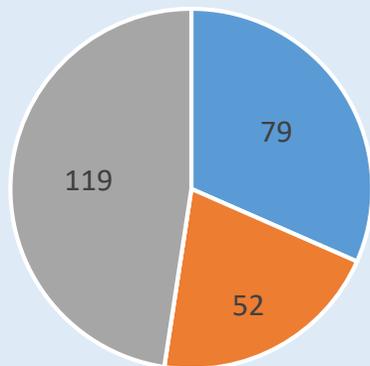
- ・ 医療情報等のFAXや郵便等による連絡の廃止（デジタル化への移行）
- ・ 北欧諸国で行われているような、国内電子カルテの一本化。法律に基づくシステムの統一が必要。少なくとも、オランダのような自由な相互参照は早期に実現してほしい。
- ・ 患者の年齢層に応じた一律でない、段階的なDX導入へ選択肢が広がると検討を進めやすい。
- ・ 患者情報をデータベースに集約できると、連携が取りやすくなる。
- ・ 個人情報の秘匿が確立された状態で、連携可能な電子カルテが普及し、医療情報が共有されて医療機関間の連携がバリアを感じないで実行できる状態。
- ・ 既往、処方、認知、受診歴などの情報や、救急患者のスムーズな連携が行えるもの
- ・ 急性期、回復期、慢性期の病院が情報を即時に共有して、病態に応じてそれぞれの機能を有する病院が転院に応じることができる体制が望ましい。
- ・ システムを一元化してリアルタイムで情報が共有できる
- ・ 診療情報や看護・介護情報の共有により、地域における前方支援及び後方支援を円滑に行うことができる仕組みが理想。

■ 地域医療構想に関する意見

- ・ 東京総合医療ネットワークは厚労省の通知に基づく口頭同意を認めず、紙の同意書を要求している。また、病院間での同意書のやり取りの方法はそれぞれの病院間に任せているため、病院ごとに方法が異なる結果となり、事務作業が煩雑。紙の同意書を使用するならば、同意書の登録方法まで電子化するなどして統一すべき。
- ・ 他職種と情報共有をし、それをシステム化できると効率化にもつながる。
- ・ 医療連携する各医療機関について、機能的な分類を各医療機関の地域における機能的役割を配慮して、中小規模の病院であっても複数の機能を持ち続けることを視野に入れる必要がある。地域の医療の実態に即した制度設計を行う必要性を感じる。
- ・ 地域医療連携を推進するためには、リアルタイムで社会資源の現況（強み、弱みや空き状況）が共有され、必要に応じ複数の支援機関が即座に調整のための打合せを聞けるような仕組みがあるとよい。

事前アンケートの主な意見（都全域）

地域医療連携システムの導入状況



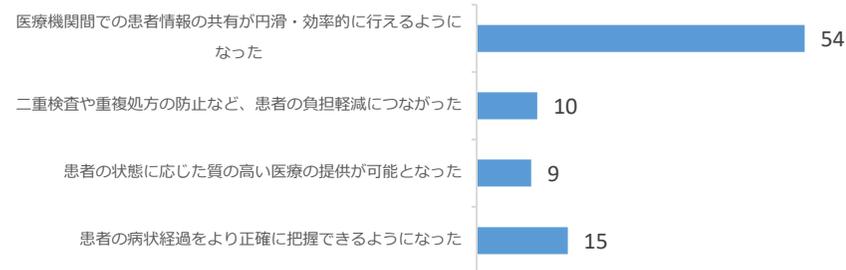
- 地域医療連携に関するシステムを導入している。
- 地域医療連携に関するシステムを今後導入する予定がある。
- 導入予定なし

病院としての主な機能別の導入状況

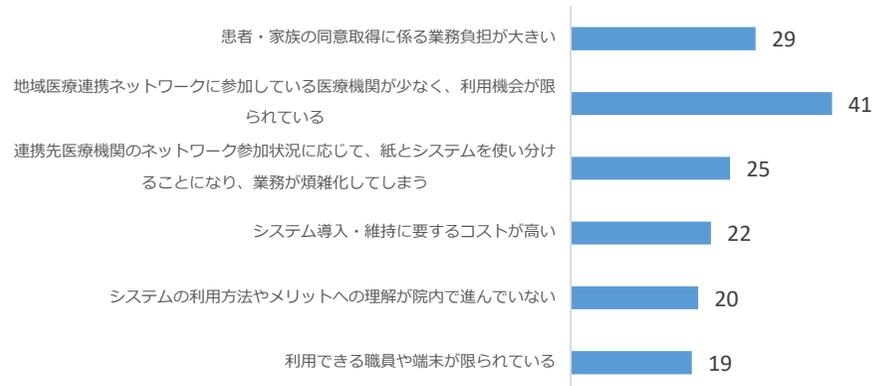
病院としての主な機能	病院数	うちシステム導入済
高度急性期	36	18
急性期/サブアキュート	79	27
回復期/ポストアキュート	15	4
慢性期	34	6
ケアミックス（急性期・回復期）	33	13
ケアミックス（回復期・慢性期）	18	6
その他	35	5
計	250	79

■ 導入済みの病院の回答

システム導入によって得られたメリット（複数回答可）



導入や運用面での課題（複数回答可）



■ 今後導入予定または導入予定なしの病院の回答

導入していない理由（複数回答可）

